

が決まりました

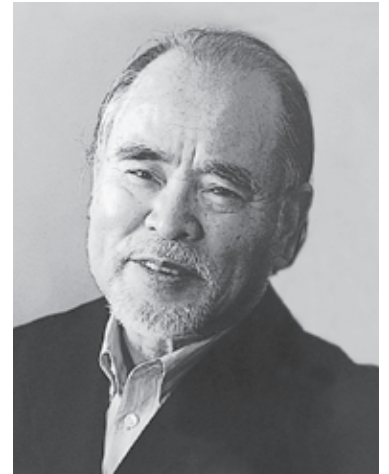
●お問い合わせ／市総務課総務係 ☎26-5700

特別功勞表彰

平成6年の創設当初から酒田市土門拳文化賞の審査員を務められ、この賞を「プロへの登竜門」と称されるまでに水準を高めるとともに、土門拳が提唱したりアリズム写真の精神の継承に尽力されました。

また土門拳の写真集「ヒロシマ」に強い衝撃を受け、37歳で新聞社を退社して写真家として独立された後は、昭和52年に日本写真協会新人賞を受賞、その後40年近くにわたり、昭和の戦争とその負の遺産を写真で表現し続けてきた現代日本を代表する写真家です。昭和56年には木村伊兵衛賞、昭和60年には土門拳賞、平成7年には毎日芸術賞という権威ある写真賞を数々受賞し、中でも、中国残留孤児を取材した「シャオハイの満州」は土門拳記念館に永久保存されています。

このような実績に加え、土門拳記念館ならびに本市を全国に発信され、写真文化の振興に大きく貢献されました。



江成 常夫氏

79歳／神奈川県

芸術文化興隆

功勞表彰



中瀬 義秋氏

68歳／三之宮

産業振興

豊かな農産物を広く味わってもらいたいとの思いから、昭和58年になかせ餅屋を創業以来、品質にこだわったおいしい食品を全国に届けています。

平成9年に平田町商工会副会長、平成18年には会長に就任し、平成20年の酒田ふれあい商工会誕生の中心的役割を果たされました。平成20年に酒田ふれあい商工会副会長、平成21年から6年間にわたり

会長として本市の商工業の発展に尽力されました。

この間、生産技術開発や販路拡大などの情報交換に努め、赤ねぎ関連商品を多数生み出す原動力となるとともに、地元の産品を見本市に出展するなど、精力的に地域資源のPRに務められました。

このように、地域ブランドの発信にける熱意とリーダーシップにより、地域産業の振興と発展に大きく貢献されました。



熊谷 崇氏

73歳／日吉町

保健衛生

昭和55年に本市で歯科医院を開業以来、35年にわたり「酒田市民の口腔内の健康状態を世界一にする」ことを診療理念に、豊富な識見と卓越した医術をもって生涯にわたり口腔の健康を維持するための歯科医療に力を注がれています。

また長年にわたり学校歯科医を務められ、平成4年には浜田小学校が「全日本よい歯の学校表彰」で文部大臣表彰

を受賞したことに貢献されました。

過去には酒田地区ならびに山形県歯科医師会理事などを歴任。加えて全国各地から志を同じくする方が集う予防歯科育成セミナーを定期的に開催し、育成指導にも尽力されています。

このように、高邁な使命を持って、市民の歯科衛生思想の普及向上と育成指導を通じて、地域医療、保健衛生の発展に大きく貢献されました。

平成27年度の各表彰

平成27年度の市の特別功勞表彰、功勞表彰、市民表彰、酒田市農業賞の受賞者が決まりましたのでお知らせします。市の特別功勞表彰、功勞表彰および市民表彰は、広く公共の福祉や市勢の発展に尽力され、功勞が特に顕著な個人または団体、市民の模範となる篤行者、市民生活の向上や公共的活動に尽力された方を表彰するものです。

市民表彰

鈴木三也氏
85歳/字北町



文化学術
興隆

平成12年に松山町文化財保護審議会会長に就任、合併後は酒田市文化財保護審議会委員として長年にわたり地域の文化財の保護に尽力されました。

平成14年から17年には、松山町史編纂委員として「松山町年表」執筆に携わるとともに、平成18年から8年にわたり松山文化伝承館運営委員長として地域文化の周知・研究に力を注がれました。

また豊富な知識、経験を生かして、古文書の解説の第一人者として指導や地域史の解明に尽力されました。さらに各種生涯学習講座の講師としても活躍し、地域文化の振興に大きく貢献されました。

故荒生清氏
享年80/大蔵



統計調査

昭和36年に統計調査員に就任以来、53年にわたり、国勢調査、農林業センサスなどの大規模調査をはじめ各種統計調査に従事されました。

特に国勢調査については昭和40年以來平成22年まで連続10回従事し、調査対象世帯への懇切丁寧な説明に努め、他の調査員の模範となる精度の高い調査を行いました。また農林業センサスについても、連続10回にわたり従事され、担当地区の農林業の実態をよく把握し、調査対象者との信頼関係を築きあげ、正確な調査を行いました。このように長年の地道な活動を通して本市の統計調査業務に大きく貢献されました。

齋藤一巳氏
77歳/若竹町



住民自治

平成17年から今日まで、若竹町北部自治会長として、また平成22年から5年間にわたり、港南区コミュニティ振興会会長、港南区区自治会連絡協議会会長、港南区区自主防災連絡協議会会長を歴任され、地域コミュニティ活動の牽引役として活躍されました。また平成23年からは4年間にわたり酒田市自治会連合会副会長として本市の発展に寄与されました。

この間、児童の見守り活動の開始や自治会館の改築のための募金活動により新自治会館の完成へと導くなど、地域住民の生活向上のため、住民自治の推進に大きく貢献されました。

茂木敏彌氏
75歳/豊原



住民自治

平成17年から今日まで、豊原自治会長として、また平成19年からは本楯地区自治会長、酒田市区自治会連合会理事として住民自治活動に尽力されました。平成21年から26年までは酒田市区自治会連合会副会長として幅広く活躍され、特に平成26年には現職会長の突然の逝去により会長を代行し、連合会をまとめあげ安定した運営に尽力されました。

また民生・児童委員としても16年にわたり務められ、その間、酒田市民生委員・児童委員協議会副会長の要職も務められるなど、住民自治の推進と地域福祉の向上にも大きく貢献されました。



芝田肇氏
75歳/前川

山岳遭難
救助

昭和40年から今日まで山岳遭難救助隊員として八幡地域での山岳遭難事故の捜索救助に携わってこられました。平成9年からは隊長に就任され、組織を統制するとともに、遭難救助訓練を励行し、若い救助隊員の指導にも尽力されました。この間、緊急かつ迅速な対応が求められる遭難事故に対し、自ら先頭に立って捜索を指揮し、豊富な山の知識と経験に加え、熱意のある捜索活動により、多くの遭難者の人命が救われました。

このような山岳遭難事故の防止と遭難者の懸命な捜索活動は、山岳遭難者の人命救助に大きく貢献されました。



加藤弘良氏
75歳/栄町

体育振興

昭和47年から43年間にわたりスポーツ少年団活動に携わり、子どもたちの体力向上と健全育成に取り組みました。平成23年から4年間は酒田市スポーツ少年団本部長に就任され、本市全体のスポーツ団体の組織強化と青少年健全育成を基本理念に掲げ、指導者の育成と資質向上、安全対策の徹底に尽力されました。平成17年には酒田体育協会常任理事、酒田卓球協会会長および山形県卓球協会副会長を歴任されました。

このように、スポーツ少年団活動を通じて本市の体育振興と青少年健全育成に大きく貢献されました。



齋藤半一氏
74歳/飛鳥

漁業振興

漁業に従事して以来60年あまりにわたり、飛鳥の近海漁業の振興と発展に尽力されました。

平成14年に法本地区の漁業代表に就任し、法木漁港整備の推進と集落漁業振興に努められました。また水産資源の枯渇を防ぐため、定期的な休漁日を設定するなど徹底した資源管理を行い、水産資源の安定確保と増収に力を注がれました。

平成17年には飛鳥地区漁業集落代表として、アワビ、ヒラメ、サザエなどの種苗放流による水産資源の増殖や海苔養殖場の補修整備による冬期間の安定的な収入確保など、飛鳥の漁業振興と発展に大きく貢献されました。



森谷功喜氏
71歳/北今町

住民自治

昭和57年に北今町32区自治会子供会育成部長に就任して以来、33年間にわたり青少年育成や環境衛生、福祉活動の企画運営に携わってこられました。

平成22年には酒田市自治会連合会本部役員に就任、平成23年には副会長となり、会長の良き補佐役として連合会の発展に多大な貢献をされました。また高齢者のニーズ調査や学区内討論を行うなど、地域支え合い組織「よろずや琢成」の組織づくりに携わり、酒田市社会福祉協議会副会長や酒田市包括支援センター運営協議会委員などを歴任され、住民自治の推進に大きく貢献されました。

この間、酒田市八幡学童保育運営委員会委員長、酒田市八幡病院評価委員会委員、酒田市明るい選挙推進協議会副会長など多くの役職を歴任するなど、市民生活の向上と住民自治の推進に大きく貢献されました。



信夫一秋氏
71歳/麓

住民自治

平成17年に山根区自治会長に就任、以来10年間にわたり地域の要となつて自治会の発展と地域の住民福祉の増進に努められました。

平成23年からは酒田市八幡自治会長に就任され、4年間にわたり精力的に地域に根差した自治会活動の指導や組織強化に取り組み、会の発展に多大な貢献をされました。

この間、酒田市八幡学童保育運営委員会委員長、酒田市八幡病院評価委員会委員、酒田市明るい選挙推進協議会副会長など多くの役職を歴任するなど、市民生活の向上と住民自治の推進に大きく貢献されました。



石黒誠一氏
69歳/楯山



住民自治

平成18年に楯山自治会長に就任し、8年間にわたり地区の防災防犯、交通安全設備の点検・立哨指導など住民の交通事故防止に努められました。

中村穰氏
64歳/若竹町



産業振興

昭和53年から今日まで長きにわたり、電気工事一筋に地域の発展およびまちづくりに尽力されました。

平成21年からは酒田市平田区長会副会長に、平成23年からは酒田市平田自治会長会会長に就任し、積極的に平田地区の課題を検討し、統合となる東部中学校の交通安全の推進に力を注がれるなど、地域に根差した自治会活動に尽力されました。この間、自治会組織の見直しに当たっては、自治会組織の強化・発展の中心的役割を担われました。

このように、市民生活の向上と住民自治の推進に大きく貢献されました。

平成11年に酒田電気工事協同組合の理事に就任、平成13年には同副理事長、平成19年からは同理事長を務められました。同時に山形県電気工事工業組合の副理事長に就任され、6年間にわたり、地域の電気工事業界の発展に寄与されました。

また平成20年1月には、本市と「災害時の応急対策に関する協定書」を締結し、大規模災害時における協力体制をいち早く構築されるなど、地域および産業の発展に大きく貢献されました。

酒田市農業賞

初代酒田農業協同組合長 伊藤惣治郎氏の遺志により遺族から寄付された伊藤農業振興基金をもとに制定されたもので、農業振興に積極的に取り組み、他の模範となる個人または団体を表彰するものです。

朝井肇氏
67歳/広野



平成13年から11年にわたり、庄内みどり農業協同組合代表監事を務められたほか、広野地区農業振興協議会会長、広野地区防除協議会会長の要職を歴任されました。

また地域リーダーとして広野コントロリー、広野農地・水・環境保全会、広野地区営事業（パイプ灌漑）の事業の推進などに尽力されました。

特に地域の集落営農組織の設立、運営に携わり、担い手育成と地域の農業経営安定に取り組むなど、本市農業の振興と発展に貢献されました。

佐藤陽一氏
65歳/坂野辺新田



平成7年から袖浦土地改良区の要職を歴任され、平成23年からは理事長として地区の農地整備事業の実施に向け、地元関係者らと協議しながら役員や組合員と連携し、事業の推進に尽力されました。

また酒田市袖浦農業協同組合の果樹部会長を長年務め、庄内柿に付加価値を付けるため、6次産業への取り組みをいち早く取り入れたフルーツサークルを立ち上げ、あんぼ柿の販路拡大で成果を挙げるなど、本市農業の振興と発展に貢献されました。

